



建築技術性能証明書

技術名称：ハッカクくん圧入工法
ー八角形型 PC パイル圧入工法ー

申込者：アキュテック株式会社 代表取締役社長 村上 満
石川県金沢市玉鉾四丁目73番地
(本技術の開発は、藤村ヒューム管株式会社と共同で行われたものである。)

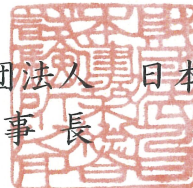
技術概要：本工法はオーガーを用いて地盤を掘削し、この掘削孔中に八角形断面を有するプレストレストコンクリート杭を建て込み、これに圧入力を作用させることで所定の深度まで貫入させる杭工法である。

開発趣旨：本技術は、戸建て住宅等の小規模建築物を対象として、低振動・低騒音杭工法であり、かつ、残土の発生がない環境面にも配慮した工法として開発したものである。また、施工時にリアルタイムで計測される圧入力を指標値とし、この指標値と地盤構成とを比較して打ち止めることで、確実な施工管理を行うことができる技術である。

当財団の建築技術認証・証明事業実施要領に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

2009年3月3日

財団法人 日本建築総合試験所
理事長 森田 司郎



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料により性能証明を行った。

資料①：性能証明のための説明資料

②：設計・施工基準

③：載荷試験資料

資料①には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。
資料②は、本工法の設計・施工基準であり、設計フロー、支持力算定式などの設計方法の他、使用材料、施工方法および施工管理方法が示されている。
資料③には、資料①で用いた個々の載荷試験結果報告書や立会施工試験報告書等が取りまとめられている。

証明内容：申込者が提案する施工基準に従って施工された八角形断面を有するプレストレストコンクリート杭の許容支持力を定める際に必要な地盤の極限鉛直支持力は、設計基準に定めるスウェーデン式サウンディング試験の結果に基づく支持力算定式で適切に評価できると判断される。